

令和 6 年度 年間授業計画 教科 社会 科目 公共

教科: 社会 科目: 公共 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年

教科担当者:	A組 西森孝哉 B組 西森孝哉 C組 西森孝哉 D組 岡田信昭 E組 岡田信昭 F組 岡田信昭 G組 岡田信昭
使用教科書:	実教出版「詳述公共」

教科 社会 の目標:

【知識及び技能】	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを論議する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを養う。

科目 公共 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 1 社会を作る私たち	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
人生における青年期の意義と特徴を理解する。	青年期と自己形成、社会参加	自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	4
自分自身が自主的により良い公共的な空間を作り出すために、思考力、判断力、表現力を学ぶ	教科書	他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察を通して、学びに向かう力、人間性を学ぶ	資料調査	よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。				
単元 2 人間としてよく生きる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。	ギリシア思想、宗教の教え、近代思想	諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
個人として相互に尊重されるべき存在として、互いに高め合うために思考力、判断力、表現力を学ぶ	教科書	思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を存在できるように、学びに向かう力、人間性を養う	資料調査	よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。				
定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説						
単元 3 社会とは何か	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由と権利、責任と義務などの公共的な空間における基本的な知識、技能を学ぶ	人間の尊厳と平等、自由と権利	人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	4
公共的な空間における基本原理について、思考実験など、概念的に取り組みができるように思考力、判断力、表現力をつける	教科書	思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
各人の意見や利害、公正を調整することを通して、学びに向かう力、人間性を学ぶ	資料調査	多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。				
単元 4 民主国家における基本原理	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的な原理についての知識、技能を学ぶ	人権保障、国民主権、民主政治	個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察、理解を通して、思考力、判断力、表現力を学ぶ	教科書	思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
協同の利益と社会の安定性の確保を図ることを学ぶ力、人間性を養う	政治の現実	多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。				
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説						

令和 6 年度 年間授業計画 教科 社会 科目 公共

教科: 社会 科目: 公共 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年

教科担当者:	A組 西森孝哉	B組 西森孝哉	C組 西森孝哉	D組 岡田信昭	E組 岡田信昭	F組 岡田信昭	G組 岡田信昭
使用教科書:	実教出版「詳述公共」						

教科 社会 の目標:

【知識及び技能】	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関する現代の諸課題について理解するとともに、種資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを論議する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを養う。

科目 公共 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、種資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 5 日本国憲法の基本的性格	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
法の規範の意義及び役割に関する現実社会の知識や技能を学ぶ	日本国憲法、平和主義、人権の尊重	個人や社会の紛争を調停、解決することを通して、権利や自由が保障され、社会の秩序が形成されることについて理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
法や規範に基づいて、各人の意見や利害を公平、公正に調整し、解決するための思考力、判断力、表現力を学ぶ	教科書	その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事項や課題を学ぶ力、人間性をつける	政治の現実	法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
単元 6 日本の政治機構と政治参加	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
民主社会の意義などに関する現実社会の事項や課題についての知識、技能を学ぶ	政治機構、地方自治、選挙と政党	社会は、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれることについて理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関して、思考力、判断力、表現力を学ぶ	教科書	自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、社会参画を視野に入れながら、考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、学ぶ力、人間性を養う	地方の実態	司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
2 学期	定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説					
単元 7 現代の経済社会	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障などの知識、技能を学ぶ	市場、現代の企業、経済成長、金融機関	市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていることを理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて、資源の効率的な配分が図られるように、思考力、判断力、表現力をつける	教科書	自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
よりよい社会の実現を視野に、雇用、労働問題、財政、租税などについての役割を学ぶ力、人間性を養う	市場動向	金融の働きなどに関する現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
単元 8 経済活動のあり方と国民福祉	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題などについて、知識や技能を学ぶ	経済の課題、社会保障、環境、労働問題	自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	9
少子高齢化社会における社会保障の充実、安定化などに関して、思考力、判断力、表現力を学ぶ	教科書	合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
自立した主体として具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画などについて、学ぶ力、人間性を養う	社会保障の動き	現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説						

令和 6 年度 年間授業計画 教科 社会 科目 公共

教科: 社会 科目: 公共 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年

教科担当者:	A組 西森孝哉 B組 西森孝哉 C組 西森孝哉 D組 岡田信昭 E組 岡田信昭 F組 岡田信昭 G組 岡田信昭
使用教科書:	実教出版「詳述公共」

教科 社会 の目標:

【知識及び技能】	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、種資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを養う。

科目 公共 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、種資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 9 国際政治の動向と課題	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
国家主権、領土、領海、領空、我が国の安全保障と防衛、国際貢献などについて、知識、技能を学ぶ	国際法、国家安全保障、冷戦と軍拡	国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、我が国の役割について理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
国際貢献を含む国際社会の我が国の役割について理解し、自立した主体として思考力、判断力、表現力を養う	教科書	国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
国際社会における我が国の役割などを理解し、現実社会の事項や課題を学ぶ力、人間性を養う	戦争の原因	国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
単元 10 国際経済の動向と課題	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
経済のグローバル化と相互関係の深まりなどに関する知識、技能を学ぶ	貿易、為替、国際収支、リージョナリズム	一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていることを理解している				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
国際社会における貧困や格差が解消されてない状況などについて、思考力、判断力、表現力を養う	教科書	経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を表現しようとしている				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関する現実社会について、学びに向かう力、人間性を養う	為替の動き	国際社会における貧困や格差の問題などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
単元 11 持続可能な社会作りの主体となる私たち	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
地域の創造、より良い国家、社会の構築などについての知識、技能を学ぶ	地域創造、対話と思考、協働と個人	第1部で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	4
公共的な空間における基本原理について、などを活用して、思考力、判断力、表現力を学ぶ	教科書	課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
持続可能な社会づくりについて、より良い社会の実現を視野に現代の諸問題を学ぶ力、人間性を養う	PC	ともに生きる社会を築くという観点から、それぞれが選択した現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
単元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
定期考査(学年末考査)/返却と解説						